



それぞれの学年での大きな行事が終わりました。行事をやり遂げた後の皆さんの表情はとても素晴らしく、いい顔をしています。今回の行事の成長に満足せず、さらに自分自身を磨いてほしいと願っています。

今月の表紙

皆さん、おかえりなさい。それぞれの行事はいかがでしたか。

1年生「わくわくオーケストラ」、2年生「トライやる・ウィーク」、3年生「修学旅行」。事前の準備から事後の学習まで、学級だけでなく、学年全体でも一生懸命に取り組めていました。皆さんそれぞれ、素晴らしい経験値を得たことと思います。今はまだそのことについて実感がわかないかもしれませんが、これからジワッと実感してきます。経験した色々な場面を、もう一度、自分の心のなかで振り返り、「思い出のワンシーン」として大切にしてほしいです。

トライやる・ウィーク（2年生）

トライやる・ウィークでは、どの事業所でも魚住中学校の生徒は好評価でした。普段の学校での取組が実践にも表れているのですね。部活動で試合の時に練習の時にやっていないことが試合でできますか？おそらく無理でしょう。試合では練習でしたことしかできません。トライやる・ウィークでいきなりよそ行きの顔をしていたとしても5日間は持ちこたえることは厳しいです。君たちは本物なのです。その本物をどんな時でも当たり前前に発揮できるよう、次のステージに自分たちを高めていくのです。また、事後学習も大切です。経験してきてことの成果を、文字として表現して発信してください。たくさんの方にも君たちの素晴らしさを見てもらいましょう。



わくわくオーケストラ（１年生）

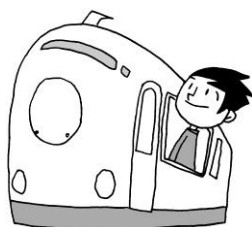


本物に触れる「体験」はいかがでしたか。インターネット等により、遠くにいかずとも様々な事に触れることができます。

しかし、「ライブ（生の）」で直接触れることは、自分の中の感性を大きく刺激してくれます。どんな刺激か。「情緒的な発達」や「言語能力」、「運動能力の向上」に寄与すると言われています。

ぜひ自分自身でも「本物」に触れる機会を積極的に求めてください。ちなみに、兵庫県では「兵庫型体験活動」として、環境体験（小学３年生）→自然学校（小学５年生）→わくわくオーケストラ教室（中学１年生）→トライやる・ウィーク（中学２年生）と設定されています。別々の行事ではなく、続いているのですよ。知っていましたか？

修学旅行（３年生）



修学旅行はいかがでしたか。コロナ禍で小学校の修学旅行は制限があった分、今回は思う存分楽しめましたか。皆さんのいい顔をたくさん見ることができ、私はホッとするとともに、とても幸せな気分でした。

さて、修学旅行は、実行委員会の皆さんや旅行業者の方、先生など、たくさんの人の支援があり無事に終了しました。改めて感謝ですね。そして、もう一人、感謝しなければいけない人を忘れていませんか。いったい誰でしょう？それは、「皆さん一人ひとり」です。一人ひとりが協力したからこそ、大きな宿泊をとまなう修学旅行をなし得たことだと思っています。だから、皆さん一人ひとりにも拍手を送ります。「よくできました。ありがとう。」

校外学習に出ると必ず「課題」は出ます。それはいけないことではなく、自然なことです。まだまだ皆さんは粗削りであるが可能性を秘めている成長段階です。失敗しないので、ではなく、失敗するのです。大切なのはその課題を次にどうするのかということです。あと残りの学校行事でその課題をどうすべきかを考えてください。高校には持ち越してはいけません。義務教育の間に考え克服しなければなりません。見届けますね。

毎日の学校生活を大切にしている、また、地道に努力を重ねている皆さんは、行事などを通じて着実に伸びています。少しずつね。結果を焦らず、自分を信じましょう。

「過程を大切にしていれば、おのずと『結果』はついてくる」

Uozumi Heros and Heroiens ever must win! 「前へ！ Go forward!」

